

安倍首相「調整金」の金銭やり取りを認め、農水相は「調整金」での値引きを認める。国民の食の安全より米国の言い分優先許されぬ。

日本共産党の紙智子議員は11日の参院予算委員会で、「売買同時入札（SBS）米の価格偽装問題を取り上げました。安倍晋三首相「調整金と言われる金銭のやり取りがあったのは事実だ」と「調整金」の存在を認め、山本有二農水相（調整金）が入札契約と関係する場合もある」と「調整金」が価格引き下げに用いられていた事実を認めました。調整金によるSBS米の値引きは、国産米を守るためのマークアップを無効化します。4日の衆院での畠山議員などの質問に、政府がTPPで輸入米が増え、SBSという国家貿易が維持されるから国産米価格への影響はないとしてきたことは、その前提が根底から崩れました。紙議員は「TPPの影響試算をやり直すべきだ」と要求しました。国がつくった公の取引の外の金銭授受で国の仕組みがゆがめられたと強調し、「これを不正取引、裏取引というのだ。政府にはその自覚が全くない」と批判しました。



質問する紙議員=11日、参院予算委員会
(写真はしんぶん赤旗提供)

質疑から

紙議員「SBS米をめぐる農水省は調査結果を公表しました。調整金の存在は総理もお認めになりますか」

安倍首相「民間同士でいわゆる調整金と言われているお金のやり取りがあったのは事実でございました」

紙議員「SBS米の輸入制度は、国産米に悪影響を与えないために農水省が、マークアップをとって管理する制度です。調整金による輸入米取引のイメージ図、これは東京地裁と新聞報道から作成しました。このケースで、商社はキロ当たり105円で調達し、国には145円だと行って売り、国はそれにマークアップ49円を付けてキロ当たり194円で卸業者に売っている。卸業者は194円では売れないから安くしてほしいと言った。そこで40円値引きし、154円で売ったことにした。東京地裁の判決では争いのない事実として、売買代金から調整金を差し引いた金額が実質的な取引価格だと認定している。調査報告書で落札を確実にするためにとありました。これ調整金で値引きすることを約束して入札をしたということではありませんか。」

山本國務大臣「調整金がある場合とない場合がある。そして入札契約と全く関係する場合もあれば関係しない場合もある。調整金の態様は多様である」

紙議員「調査では金銭のやり取りは国、輸入業者、卸業者の3者の契約の外で行われたと書いてある。国がつくった公の取引の外でこのお金のやり取りがあったという

ことは、国の仕組みが歪められたことになる。普通は不正取引、裏取引と言うんですよ。（政府には）その自覚が全くないんですよ。東京地裁が認定した（ここにある）ケースで調整金総額は2社の数回の取引だけでも5千万円となっている。「答弁はよく分からない。マークアップを少なめに設定したのであれば、政府は負けてやったことになる、予算に関わる重大な問題との認識が全くない。この調整金の総額を公表するよう要求します。」「政府はSBS取引は国家貿易、国内価格には影響しないと説明しました。しかし、調整金の存在が明らかになったことで、その信頼性が根底から崩れた。TPPの影響試算の根拠が崩れた。試算のやり直しをすべきだ」

「TPPでさらに輸入米を増やそうとし、全く反省していない。アメリカとの交換文書には、入札を6回に増やす、外国法人も入札に参加できる、3回の入札で90%を下回る場合残り枠の全てを入札する。国産米に関係なくアメリカのコメを日本に入れる。いかにもアメリカ言いなりじゃないか。TPPは到底受け入れられない。」

